

令和2年度北野高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

形態 書面会議

教頭宛てに2月26日までにご意見および書面確認・了解書をいただいた。

(1) 校長挨拶

(2) 事務局より

- ・校長より 今年度学校経営計画 と 次年度計画 について
- ・教頭より 今年度授業アンケート結果について
- ・進路部 岡本教諭より 共通テスト結果について
- ・首席より 今年度学校教育自己診断 について

(3) 意見交流 委員からのご意見

1. 学校教育自己診断について

「高い学力の育成」

90%程度以上の学生が、「授業は興味深く、難易度や進度が適当である」と満足していることは、特筆に値する。これは、先生方が授業方法改善に不断に取り組んでおられることの証左であり、先生方の熱意と取組を高く評価したい。

「豊かな人間性と心身のたくましさの育成」

授業以外の学校行事に対しても、90%程度以上の学生が満足して取り組んでいる。また、人権やモラルについて学ぶ機会も十分に提供されていることが伺える。今後とも、今回と同様のレベルにて、引き続き人間性や社会性を育む教育に取り組んで頂きたい。

「次代のグローバル・リーダーの育成」

いずれの評価項目も上昇トレンドにあり、適切な指導が行われていると判断できる。「自分の考えをまとめる」と「考えを人に伝える」という事は、グローバルリーダーとしての必須の項目であり、これらの教育への積極的な取組が伺える。発表の機会を多く設けるとともに、生徒間で活発な議論が行われるような指導を継続して頂きたい。

2. 生徒による授業アンケートについて

ほとんどの科目で、満足度(平均)が上昇しており、かつ、4点満点中3.5程度以上のスコアとなっている。先生方の教え方改善への不断の取組と、学生の授業への真摯な取組が伺え、大変良い状況にあると判断できる。

3. 令和3年度大学入試共通テストについて

上出来だと思われる。日頃の教育および受験指導の先生方、本当にご苦労様です。

今年度から、大学入試制度の改革やコロナ禍の中で、北野高校として、的確に指導されてきたことがよくわかった。今後も北野高校としてぶれない方針のもと、生徒たちの進路指導に奮闘していただきたい。

4. 令和2年度学校経営計画 自己評価について

教員側の熱心な取組と授業や学校行事に対する生徒の真摯な取組により、高い教育効果が得られている。ほぼ

すべての項目で、評価指標を達成しており、高く評価できる。唯一心配な点は、「6.働き方改革」に関する部分にある。教員が教育方法の改善に不断に取り組んでいることが伺えるが、オーバーワークとならないよう、また、同僚間で十分なコミュニケーションが図れるよう、余裕を持って教育に取り組める環境の整備に努めて頂きたい。

5. 令和3年度学校経営計画 について

いずれも、今年度の高い評価と同等の評価を維持するという高い目標設定であり、ぜひ、この計画で授業や各種行事を実施して頂きたい。今年度培われた実績をもとに、学校運営に臨まれることを期待する。

6. その他

○今年度は、コロナ対応で各種行事が通常通りで行えなかったなどの制約が多かった。来年度も、今年度と同様の状況となることが予想される。一方、各種のミーティングを遠隔で実施する機会も多かった。遠隔でのミーティングは、場所と時間に制約されることなく実施できるという利点がある。例えば、海外高との連携も、海外渡航することなく遠隔で実施できる可能性がある。このような環境を積極的に利用する活動についても検討する価値があると思う。

○保護者からの願いとしては、もう少し学校からの発信を増やしてほしい。学校生活、大学受験等のことを、親としてもう少し知っておきたい。

○これらの目標を達成するための個々の先生方の研究・工夫・生徒との対話の努力は計り知れない。優秀な能力を持った生徒たちを満足させ、勉学意欲を高めるのは並大抵のことではない。そのため、到達度が十分でない生徒への対応や勉学以外の教育活動の悩みを先生方で話し合う時間を作ることがたいそう難しいと想像できる。おそらく寝る時間をも削って頑張ってくださっている先生方には、感謝あるのみである。

(4) 教員の教育活動に係る保護者からの意見の調査・審議 等 なし

(5) 令和3年度学校経営計画について、委員6名全員からの承認が得られた。